

## 信号通信 構造物

### 自動化された検測は投資の効率化をもたらす

原題: Automated inspection drives efficient spending  
誌名: RGI: Railway Gazette International Vol.175 No.2 (2019-2) pp.32-34

イギリスでは2000年10月に発生したハットフィールドの脱線事故を契機に、設備状態を詳細に把握することの重要性を認識しました。レールトラックに代わり鉄道設備管理を担当するネットワークレールにより、保守と更新を戦略的に進めるためのツールやデータ管理体制を急速に整えています。レールの超音波探傷、軌道状態測定用センサー、モニターカメラを備えた13編成64両の新型検測車NMT (New Measurement Train)を導入・運用し、収集された情報は路線の運用・保守を担当する部局に提供します。これらのデータは軍用レベルの精度をもつGPS情報により地理情報と関連付けられ、設備管理に活用されるとともに列車運行の障害となる情報はリアルタイムで管理センターに通報されます。この情報サービスは、設備保守と更新戦略に欠かせないビジネスツールとなっています。運用責任者によれば、今後テクノロジーの進歩とともに検測車両の更新時にさらに機能向上を進め、システムを拡張することにより、安全性や利便性の向上と列車容量の増大が期待できます。



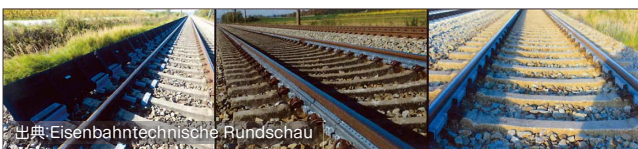
出典: Railway Gazette International

ノーザンプトン駅に停車中の新型検測車NMT

## 環境 騒音防止先導プログラムによる取り組み

原題: Lärmschutzinitiative I-LENA nimmt Fahrt auf  
誌名: ETR: Eisenbahntechnische Rundschau Vol.68 No.1+2 (2019-1+2) pp.54-58

騒音防止の最初の革新的方法が試験線に施工され、特別に開発した測定作業を始めました。連邦運輸省、BMVI (デジタルインフラ省)、DBの協力の枠組みで革新的なプロジェクトI-LENA (騒音防止先導プログラム)をはじめ、多様な地上の騒音防止方法を試験しました。このプロジェクトには30以上の発案者から50以上の対策が検討されました。そのうち31の対策を選び、DBのさまざまな試験軌道に組み込みました。景観にあまり影響しない軌道近くの対策が焦点になっています。転動音の対策だけでなく、曲線部の発生音、橋りょうから生じる音、工事における騒音も対象です。



出典: Eisenbahntechnische Rundschau

騒音防止対策: ミニ防音壁 (左), レール腹部覆い (中央), レール腹部ダンパー (右)

## 輸送 開業遅れるベトナムの地下鉄

原題: The wait goes on  
誌名: RGI: Railway Gazette International Vol.175 No.2 (2019-2) pp.42-44

ベトナムのハノイとホーチミンでは自動車やオートバイが増え、交通渋滞や環境汚染に悩まされています。その解消のために、ハノイでは170km、ホーチミンでは216kmの都市鉄道建設を計画していますが遅れています。ハノイでは提案されている地下鉄路線のうち、2A路線だけが中国鉄道第6集団により建設されており、完成に近づいています。報道によると2018年10月には13kmの区間で試運転を開始し、2019年第1四半期には営業を始める予定です。ホーチミンも完成間近なのは、北東部のペンタイン市場からスイティエンまでの19.7kmの1号線だけです。2020年に開業を予定しています。



出典: Railway Gazette International

試運転が行われているベトナム初の地下鉄ハノイ2A号線

## 車両 デジタル化プロセスのための試験列車と試験線

原題: Digitalisierung im Test: Versuchszug, Teststrecke und Forschungscampus  
誌名: ETR: Eisenbahntechnische Rundschau Vol.68 No.1+2 (2019-1+2) pp.63-65

各種デジタル化技術の試験のために、DBは試験列車 (アドバンスト・トレイン・ラボ)を開発し、デジタル試験線 (リビング・ラボ) にエルツ山地のシュヴァルトツェンベルク〜アンベルク・ブッフホルツ間を指定しました。また、スマートレイル通信施設をアンベルク・ブッフホルツに開設します。DBは国際的な試験のために、試験列車や試験線を鉄道業界に提供します。アドバンスト・トレイン・ラボはリビング・ラボ試験線だけでなく、バイエルン州の高速道路A9号線に並行したデジタル試験線のような他の路線でも運転します。



出典: Eisenbahntechnische Rundschau

アドバンスト・トレイン・ラボ試験車両ICE TD605形式



WRT (海外鉄道技術情報) は海外主要鉄道誌の記事抄訳を含め、海外の最新の鉄道技術情報をタイムリーに紹介する季刊誌です。ここに紹介した記事はその一部です。

⇒新刊案内、バックナンバーは総研HP ([www.rtri.or.jp](http://www.rtri.or.jp)) をご覧ください。

⇒問合せ (研友社) TEL: 042-572-7157 HP: [www.kenf.jp](http://www.kenf.jp)